

令和4年度

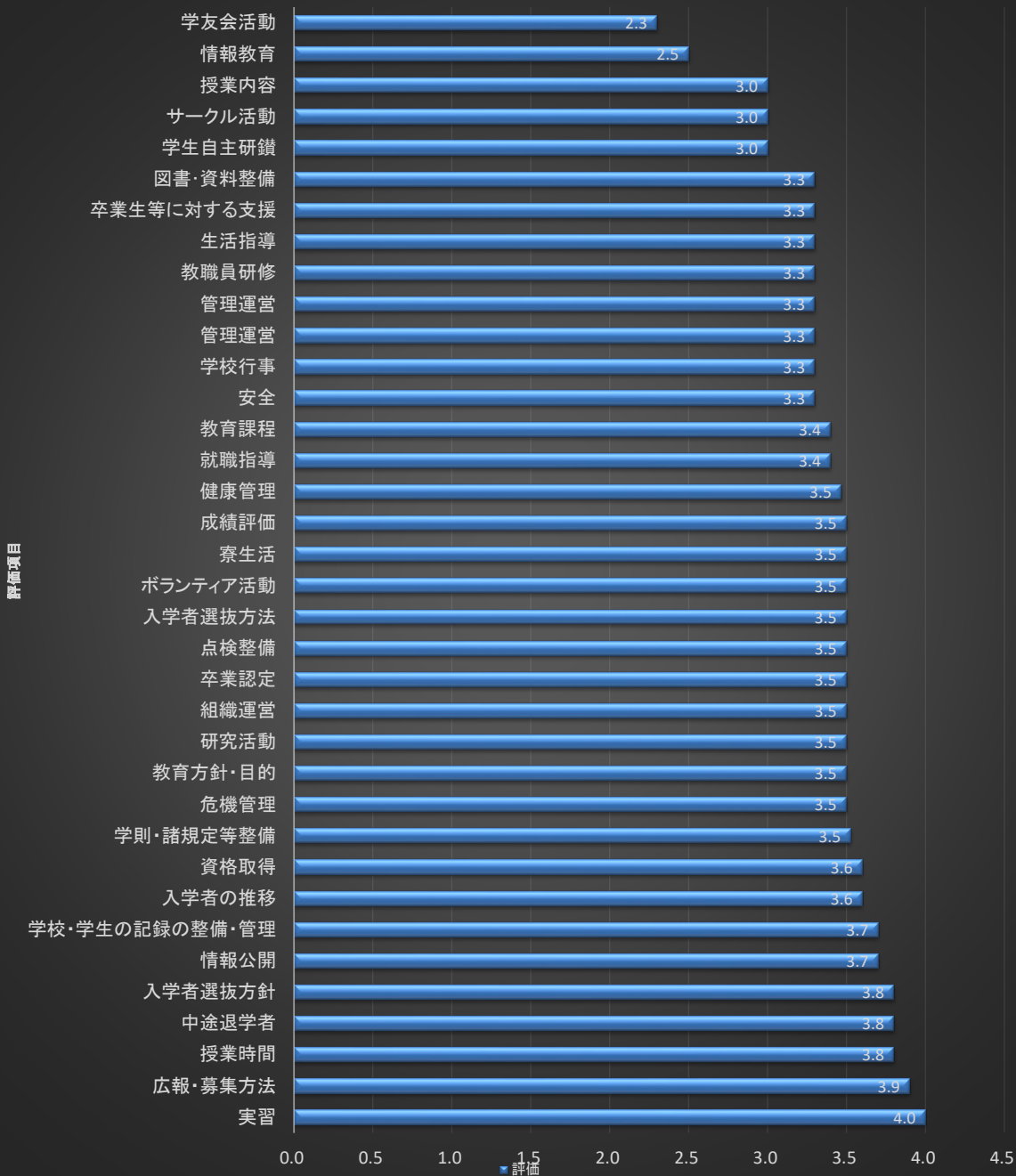
I 教職員自己評価集計結果表

I 学校自己評価結果について

0	大 項 目	大項目平均点	中項目	中項目平均
教育方針	教育方針・目的	3.5	保育系専門学校として適切な教育方針・目的である	3.8
			学校・学生の実態を適切にふまえている	3.3
教育指導	教育課程	3.4	学生の学習能力が適切に把握されている	3.5
			教育設備・教材が適切に整備・管理されている	3.3
			教育課程の運営・点検が適切に行われている	3.5
	授業内容	3.0	学生が授業内容を適切に理解できる工夫がなされている	3.0
			授業内容が適宜見直しされている	3.0
	授業時間	3.8	規準、学則で決められた授業時間数が適切に確保されている	3.8
	情報教育	2.5	ICTの活用に適切に取り組んでいる	2.5
	資格取得	3.6	資格取得に向けて計画的に適切に取り組んでいる	3.8
			資格取得と教科の関係が適切に把握されている	3.5
	実習	4.0	現場実習への支援態勢が適切である	4.0
	卒業認定	3.5	規定に則って適切に認定されている	3.5
	成績評価	3.5	規定に則って適切に評価されている	3.5
			適切な評価方法で評価されている	3.5
	学生自主研鑽	3.0	学生への支援態勢が適切に整備されている	3.0
	図書・資料整備	3.3	種類・数量等は適切に整備されている	3.3
			毎年適切に購入・導入されている	3.3
学則・諸規定等整備	3.5	学則・諸規定等が適切に整備・管理されている	3.5	
		学則の点検・見直しを適宜行っている	3.3	
		学生便覧の点検を適宜行っている	3.5	
		厚生労働省等および文科省通知等に適切に準拠している	3.8	
学校・学生の記録の整備・管理	3.7	教育課程が適切に整備・管理・改善がなされている	3.8	
		行事記録が適切に整備・管理されている	3.5	
		シラバスが適切に整備・管理されている	3.8	
		学籍簿が適切に整備・管理されている	3.8	
卒業生等に対する支援	3.3	出欠記録が適切に整備・管理されている	3.8	
		就職先との情報交換が適切になされている	3.3	
学生募集	入学者選抜方針	3.9	保育系専門学校として選抜方針が適切である	3.8
			保育系専門学校として求める人材・人物像が明確である	3.8
	入学者選抜方法	3.8	入学者選抜方法が適切である	3.8
	広報・募集方法	3.9	推薦・一般、新規高卒生・社会人の募集方法が適切である	3.8
			学校見学会や多様な広報活動を積極的に行っている	3.8
入学者の推移	3.6	高校別・学科別動向が適切に把握されている	3.5	
			高校別・学科別動向が適切に把握されている	3.3

領域	大項目	大項目平均点	中項目	中項目平均
学生生活	生活指導	3.3	保育系専門学校として生活指導方針が適切である	3.5
			教職員の共通理解が適切に図られている	3.3
			生活指導方針が適切に整備されている	3.3
			面談・カウンセリングを通して学生理解が適切に行われている	3.3
	健康管理	3.5	健診が適切に実施されている	3.8
			保健室が適切に整備・管理されている	3.0
			健康記録が適切に整備・管理されている	3.8
	安全	3.3	施設・設備の安全点検、安全指導が適切に実施されている	3.3
	学校行事	3.3	内容・回数等が適切に実施されている	3.3
	学友会活動	2.3	学生が自主的・適切に活動している	2.3
	サークル活動	3.0	活動への適切な支援・援助がある	3.0
	ボランティア活動	3.5	学生の取り組みが積極的・適切である	3.5
	寮生活	3.5	寮生の生活指導が適切に行われている	3.5
寮生の相談支援が適切に行われている			3.5	
中途退学者	3.8	指導・実態把握が適切に行われている	3.8	
就職指導	3.4	就職セミナー等を適切に実施している	3.3	
		就職支援体制が適切である	3.5	
		就職相談が適切に行われている	3.5	
		求人開拓が適切に行われている	3.3	
組織・運営	管理運営	3.3	組織・分掌が適切に機能している	3.3
	組織運営	3.5	分掌構成のバランスが適切である	3.5
			適材適所に適切に配置されている	3.5
	情報公開	3.5	情報の公開は適切に行われている	3.3
個人情報適切に保護されている			3.8	
危機管理	3.5	危機管理体制は適切である	3.5	
教職員	教職員研修	3.4	校内外の研修に適宜参加している	3.3
	研究活動		紀要は適宜発行されている	3.5
施設・設備	管理運営	3.4	施設・設備の管理運営は適切である	3.3
	点検整備		点検整備は適切に行われている	3.5

Ⅱ 大項目別評価および学生自己評価



令和4年度 学生自己評価/アンケート集計結果表（学校生活）＜回答者：学生＞

		評価 4：十分に評価できる	3：ほぼ評価できる	2：やや不十分である	1：不十分である
設問番	授業／その他				
1	・予習をして授業に臨みましたか。			2.6	
2	・あなたの授業態度はどうでしたか。			3.2	
3	・授業の内容を理解できましたか。			3.0	
4	・授業はわかりやすい工夫がなされていましたか。			3.1	
5	・あなたにとって授業の進む速さはどうでしたか。			3.0	
6	・教師の話し方は明瞭でしたか。			3.0	
7	・授業の重要な点を明確に把握できましたか。			3.2	
8	・授業中に質問や発言をしましたか。			2.8	
9	・毎日の学院生活を楽しいと感じていますか。			3.3	
10	・授業以外の活動（行事）に積極的に参加できましたか。			3.2	
11	・今年度ボランティアに参加しましたか。			2.4	
12	・放課後、休日にアルバイトをしていますか			65%	
13	・アルバイトの目的は何ですか。 ※（ ）内に多い順に番号をつけてください。 また、その他 には具体的用途目的を【】に記入。	住居費（1位）			
		食費・生活費（2位）			
		遊興費（3位）			
		その他			
14	・学院生活での交友関係で何か悩みがありますか。			はい（9%）	いいえ（81%）
15	・悩みを相談できる友人または先生がいますか。			はい（90%）	いいえ（10%）
16	・コロナ禍における本学院の教育活動について			3.2	
17	・学校環境で改善してもらいたいことがあったら記載してください。			別紙	
18	・授業についてあなたが思うことを自由に記載してください。			別紙	
19	・実習についてあなたが思うことを自由に記載してください。 ※2年生のみ回答			21%	
20	・あなたの実習において、実習先にコロナ禍などの理由で出向くことができず、学内実習となったのは、実習全体のおおよそ何%ですか。 ※2年生のみ回答			別紙	
21	・その他（何でも）			別紙	

Ⅲ 学校関係者評価について

令和4年度の学校関係者評価は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和3年度同様学校自己評価及び学生のアンケートなどのデータをもとに、各学校関係者評価委員の評価をいただいた。また、各委員には本学院の教育活動への参加や視察をお願いし評価いただくようにした。

◎学校関係者評価委員からの主なご意見(概要)

- ① 授業及び実習に関して満足度の高い評価となっており、引き続き学習意欲を高める工夫を継続してください。
- ② ICTの充実を日常の授業において推進し、学生の学びへの意欲喚起につなげてください。
- ③ 学生の授業における自己評価結果を踏まえた具体的取り組みが必要である。
- ④ ボランティア活動はコロナ禍での制約も徐々になくなりつつあり、今後の活動に期待します。
- ⑤ コミュニケーション能力を高め、自分の意見をしっかりと表現できるための授業や教育活動を一層推進をしてください。
- ⑥ コロナ禍においても遠隔授業が可能となる教育設備・教材の一層の充実が望まれる。
- ⑦ 保育分野とともに福祉分野への関心が高まる教育活動の充実を図ってほしい。
- ⑧ 実習後の振り返りを通して出てきた課題について、グループワーク等で学習を深めて、卒業後の進路につなげてほしい。
- ⑨ 教育活動全般を通して人間力UPのための取り組みを強化し、将来有為な社会人(保育者)として活躍してほしい。
- ⑩ 教職員の学生への手厚い指導が随所に感じられ、あたたかな気持ちになります。
- ⑪ 経費の問題もありますがエアコン整備を進めていただきたい。学生募集にもかかわる事項でもあります。
- ⑫ 今後、学校評価を通して更なる改善を推し進め持続可能な学校をめざしてください。

Ⅳ 総括

三年間続いたコロナ禍のなか、遠隔授業等のためのインターネット環境は2022年3月に整備された。しかし現在、各教科の授業においてICT活用した授業が十分に行われていないことから、教職員自己評価が低い結果となっていると思われる。今後学内研修を通して、充実を図っていく必要がある。

これまで様々な対面式の教育活動が制限を受けたなかで、本学は2年時に3つの「実習」を行っているが、令和4年度は約80%の実習を実習先で実施することができた。実習報告会では、子どもたちを目の前に行う実習を終え充実感が伝わって来た。

学生アンケートからは、学習環境設備の充実(エアコン設置)の要望が多く出されている。

また、授業に積極的に参加するための予習等がなされていない学生への指導対策も必要である。一方で、毎日の学習が大変楽しく充実していると回答した学生も少なくなかった。今後も学校評価を通して、限られた経費を有効に使い、学習環境の整備・充実を計画的に推し進めていきたい。